

Can do をベースにしたカリキュラムの事例 [生活]

佐藤智照 (国立大学法人 島根大学)

(SIC 訪問日本語コース カリキュラム)

(1) カリキュラム開発の経緯、背景

島根県と(公財)しまね国際センターは、SIC 訪問日本語コースを開設している。コースの目的は、日本語教室に通えず日本語能力が不十分であるために、地域に溶け込めず孤立している外国人住民を一人でもなくし、地域社会の一員として生活できるように支援することである。コースは、基本的に1対1で行われる。外国人住民は、「生活場面」や「交流場面」に必要な日本語や運用スキルを習得し、日常生活や周囲との人間関係作りに役立てることが期待されており、日本語学習支援者は、学習支援を行うとともに将来的に外国人住民と地域とをつなぐ役割を担うことが期待されている。2018年に「A1～A2.1レベルのカリキュラム」を開発し、同年にコースを開始した。運用した結果、有効性と共に課題も報告されたため、2020年に新たに「A1レベルのカリキュラム」の開発を行った。

(2) 対象、目的

	A1～A2.1レベルのカリキュラム	A1レベルのカリキュラム
対象	外国人住民：日本語教室に通えない初級学習者（JLPT N5程度：A1～A2レベル） 日本語学習支援者：外国人住民の支援や交流に関心がある人（日本語学習支援未経験者を含む）	
目的	[外国人住民] ① <u>日本語を使って基本的な生活行為ができる。</u> ② <u>日本語を使って周囲の人と交流できる。</u> ③ <u>自律学習のスキルや姿勢を身につける。</u> [日本語学習支援者] ① <u>「やさしい日本語」を意識的に使える。</u>	[外国人住民] ① <u>日本語を使って周囲の人と交流できる。</u> [日本語学習支援者] ① <u>「やさしい日本語」を意識的に使える。</u> ② <u>パートナーとしての意識を持ち、「対話の姿勢」で交流することができる。</u>

(3) カリキュラム開発のプロセス

カリキュラムは、地域日本語教育に携わる日本語教師と大学教員が、第二言語習得理論や技能を基盤とした教授法(Competency-Based Language Teaching)並びにコミュニカティブ言語教授法の考えを参考に開発した。シラバスは、技能基盤シラバス(Competency-Based Syllabus)で、外国人住民の生活環境や『標準的なカリキュラム案(文化審議会国語分科会)』、CEFRの「共通参照レベル」「活動Can-do」を基に作成された目標言語課題と課題遂行に必要な言語項目で構成されていた。このシラバス項目を話題ごとに10課に分け、各課の到達目標と評価で用いるパフォーマンス課題を定めた。次に、CEFRの「共通参照レベル」と扱う文型の複雑さを考慮して課の配列を行った。最後に、日本語学習支援未経験者が支援しやすいこと、学習者の自ら学ぶ力を育てることを念頭に、指導手順を定めた。

(4) 評価の方法

パフォーマンス課題や活動の自己評価。ルーブリックは提示せず、単純に3段階で評価を行う。

(5) 運用した結果、効果

「A1～A2.1レベルのカリキュラム」コース参加者の声(2018～2020)

[ブラジル人女性] (省略)このコースでは、スーパーでの色々なことが一人でできるようになったり、聞けるようになったり、息子の通っている保育園で先生と簡単なことが通訳なしで話すことができるようになりました。病院にも一人で行くことができました。」

【日本人女性】「(省略)日本が大好きだという姿勢、日本語の勉強への意欲に感銘を受けました。また将来、日本語教師になりたいと強く考えるきっかけになりました。」

「A1 レベルのカリキュラム」コース参加者の声(2021～)

【中国人女性】「ローマ字入力ができるようになり嬉しい。日常会話が問題なくできるようになりたい。」

【日本人女性】「交流できるのが楽しい。意外なところを難しく感じている時があり新しい発見もある。」

(6) 課題

「A1～A2.1レベルのカリキュラム」は、「学習者のレベルが想定よりも低いこと」、「あまり身近ではない言語行為が含まれていること」、「各課の学習項目が多いこと」、「日本語学習支援未経験者にとって活動が難しいこと」などの課題が判明した。「A1レベルのカリキュラム」の課題は、調査中である。

(7) カリキュラムのサンプル(全10回、学習内容、項目、使用教材等を示した表)

	A1～A2.1レベルのカリキュラム	A1レベルのカリキュラム
時間	15時間(90分×10回)	
教材	「いっしょにほんごしまねけん」全10課	「となりでほんご」全10課
手順	1)Can-do確認 2)絵による語彙確認 3)聴解(意識化) 4)文型説明 5)運用練習 6)パフォーマンス課題 7)自己評価	1)Can-do確認 2)翻訳による表現・語彙確認 3)対話活動 4)会話練習 5)スピーチ練習 6)自己評価 7)発展会話 8)文字変換学習

【A1～A2.1レベルのカリキュラム】

	目標言語課題	言語項目
1	a)家族や友だちに挨拶をしたり、短い会話をしたりすることができる。(A1) b)家族や友だちに感謝や謝罪の気持ちを伝えることができる。(A1)	・「おはよう」「こんにちは」 ・「あついですね」 ・「じゃあ、また」 ・「すみません」など
2	a)自分の名前や出身、仕事、家族について話すことができる。(A1) b)写真を見せながら、家族や友達について紹介することができる。(A1)	・「私は(李)です」「(中国)人です」 ・「私は(会社員)じゃありません」 ・「家族は(4人)です」 ・「これは(私の父)です」など
3	a)写真や地図を見せながら、自分の国や町の様子について話すことができる。(A1) b)写真や地図を見せながら、自分の国や町の様子について話したり、相手の質問に答えることができる。(A1)	・「(ホーチミン)は(ベトナム)の(南)にあります」 ・「(バインミー)が有名です」 ・「(高い)(ビル)があります」など
4	a)店で欲しい商品があるかを尋ねることができる。(A1) b)郵便局で、いくらか、どのくらい日数がかかるかなど尋ねることができる。(A2) c)商品の表示を見て、商品の種類や賞味期限など必要な情報を理解することができる。(A1)	・「(トマト)はありますか」 ・「(航空便)はいくらですか」 ・「(6日)かかります」 ・「賞味期限」「豚肉」「割引」 「無料」「お酒」など
5	a)自分の好きなことや、休みの日の過ごし方、普段の生活について話したり、尋ねたりすることができる。(A2) b)週末の予定や週末した事を話したり、尋ねたりすることができる。(A2)	・「(読書)が好きです」 ・「よく(アニメ)をみます」 ・「(スーパー)で買います」 ・「(昨日)(勉強)しました」など
6	a)親しい人を誘うことができる。親しい人から誘われた時に、了解したり、柔らかく断ることができる。(A2) b)友達と会う約束をし、いつ、どこで会うかを話し合うことができる。(A2)	・「(お祭り)があります」 ・「(行き)ませんか」 ・「(カラオケに)(行き)たいです」 ・「(土曜日)はどうですか」など

7	a)緊急地震速報などを観て、簡単な注意や避難指示を聞いて理解することができる。(A2) b)避難所で自分が話せる言語を相手に伝えたり、簡単な指示を聞いて理解することができる。(A1) c)自分から手伝いを申し出ることができる。(A2)	・「(大雨)に注意してください」 ・「震度」「松江」「浜田」 ・「(英語)ができます」 ・「(食べ)てください」 ・「(持ち)ましようか」など
8	a)家族や医師に自分の体調について話したり相手の質問に答えることができる。(A1) b)薬の袋の表示を読んで、いつ飲むのか、一回にどれくらい飲むのかについて理解することができる。(A1)	・「(頭)が痛いです」 ・「熱があります」 ・「(運動し)てもいいですか」 ・「1日(2)回」「食前・食後」など
9	a)ハローワークや会社の面接で、希望の仕事やできること、仕事の経験について話すことができる。(A2) b)会社に遅刻や欠勤の連絡を行う際、遅刻や欠勤の理由を簡単に伝えることができる。(A2) e)職場でのルールを理解することができる。(A1) f)アルバイト募集のチラシを見て、仕事の内容、時間、給料を理解することができる。(A1)	・「(コンビニ)で働きたいです」 ・「(コンビニ)で働いたことがあります」 ・「すみませんが(熱があります)」 ・「(休憩し)てもいいですか」 ・「曜日」「給料」「勤務地」 「レジ」「製造」など
10	a)学校に欠席や遅刻の連絡をしたり、子どもの体調などについての学校からの連絡を理解できる。(A2) b)子どもの普段の様子を担任の教師に話すことができる。(A2)	・「(熱があります)から、休みます」 ・「服が汚れました」 ・「あまり(話し)ません」 ・「よく(食べます)」など

[A1 レベルのカリキュラム]

	目標言語課題	言語項目
1	a)日常の挨拶をすることができる。(A1) b)学習に必要な言葉を理解することができる。(A1) c)簡単な自己紹介をすることができる。(A1)	・「おはよう」「こんにちは」 ・「(聞いて)ください」 ・「私は(李)です」 ・「(上海)出身です」など
2	a)自分が好きなことについて話すことができる。(A1)	・「(料理)が好きです」 ・「よく(料理)をします」など
3	a)出身地の有名な所について説明することができる。(A1)	・「(ソウル)は(にぎやか)です」 ・「(市場)がおすすめです」など
4	a)出身地の有名な料理について説明することができる。(A1)	・「おいしいです」「辛いです」 ・「スープ」「(肉)の料理」など
5	1)から 4)の復習。1)から 4)を用いて日本語学習支援者と対話(交流)	
6	a)自分の食生活について話すことができる。(A1)	・「(パン)を食べます」 ・「(水)を飲みます」 ・「(料理を作り)ません」など
7	a)自分の一日の生活について話すことができる。(A1)	・「(7時)に起きます/寝ます」 ・「(テレビを見)ます」など
8	a)休みの日にしたことについて話すことができる。(A1)	・「(浜田)に行きました」 ・「(8月)に行きました」 ・「(海)で遊びました」など
9	a)欲しいもの、したいことについて話すことができる。(A1)	・「(自転車)がほしいです」 ・「(買い物)を)したいです」など
10	5)～9)の復習。5)から 9)を用いて日本語学習支援者と対話(交流)	